

交 剣 知 愛

会長 川瀬 能男

事務局 幹事長 小川 徹

第574号(2021・令和3年4月号)
(令和3年4月28日発行)

IGKC ホームページアドレス
<http://www.-igkc.or.jp>

【会長挨拶】

先ず、新型コロナ感染予防による制約事項の多いなか、4月月例会においてご指導に当たって頂いた8段の先生方に感謝申し上げます。また、4か月ぶりの稽古会に予想より多くの会員の参加を得たことを心から嬉しく思います。厳しい現況のもと、稽古の機会が制限されていますが、皆様の益々の精進を祈念致します。

【月例会】

当月は、4月17日(土)13時30分から16時45分の間、浦安市総合体育館において実施しました。

参加会員は新型コロナウイルス感染予防のため、月例会開始前に検温、氏名記帳及び当該施設の制限事項を確認のうえ手指消毒を行いました。

(集合写真)



①参加者

指導の先生: 渡邊哲也、近光正、川瀬能男、入井徳明、一柳正之、松原治

参加者数: 35名

②稽古内容

会長挨拶、留意事項伝達の後、準備運動を行い、次の内容で稽古を実施しました。
直近の昇段審査に備え、6、7、8段の模擬審査を実施し、模擬審査終了後、廻り稽古、指導稽古及び自由稽古を行いました。

(模擬審査)



(模擬審査講評)



(廻り稽古)



(指導稽古)



(指 導)

模擬審査及び稽古終了後、渡邊範士から「切る剣道」について御教授頂きました。

【事務局からのお知らせ】

1 総会議案審議結果

総会出席者数162名(書面出席者:34名、電磁的方法出席者:128名)

(議決権行使:58名、議長委任:104名)

第1号議案 2020年度事業報告

第2号議案 2020年度決算報告及び監査報告

第3号議案 2021年度事業計画(案)

第4号議案 2021年度予算(案)

いずれの議案についても賛成者は過半数以上であり、2021年度総会議案は令和3年4月2日に成立しました。

ご協力ありがとうございました。

2 今後の月例会の予定

月 日	時 間	場 所
5月23日(日)	13:00～16:00	新宿区スポーツセンター武道場
6月	未 定	(浦安市総合体育館を予定)
7月11日(日)	13:00～16:00	新宿区スポーツセンター武道場

ただし、受入れ施設の態勢により中止、時間の変更又は参加人員に制限がある場合がありますので、予めご了承ください。

なお、細部については別途お知らせします。

3 会員名簿記載内容の確認と連絡

本部から各会員あてに送付された令和2年5月31日現在の名簿記載内容をご確認のうえ、変更があった場合は、事務局あてに至急連絡ください。

2021年度本部会員名簿に反映します。

なお、すでに連絡済の方は再度連絡の必要はありません。

連絡先: tetujin-30@g08.itscom.net

4 2021年度会費納入者(令和3年3月22日～4月28日)

2021年度会費を納入された会員は次のとおりです。(敬称略)

一柳正之、入井徳明、岩崎佳世、生沼輝男、太田篤、大塚桜子、大野泰史
小笠原大八、小川徹、荻原博、栗原正和、栗原雅行、後藤天志、小林景樹
斎藤壽久、桜庭秀和、高塚洋二、宅間秀記、中川岳人、根木正次、羽鳥信一
藤原勝、古澤豪、松原治、萬代克樹

5 2020年度会費納入のお願い

2020年度年会費未納の方は納入をお願いします。

なお、振込手数料は会員各自にてご負担願います。

振込銀行: ゆうちょ銀行

【交剣知愛】 (教士八段 安江正紀 先生 寄稿)

「パキスタンにおける剣道事情 ～ アザーンの街の侍達」

次ページからご覧ください。

第四話「イスラマバードの学生達は侍大好き」

1 日本文化紹介の一環としての剣道講習会

今回は、日本文化紹介の一環として、首都イスラマバード周辺の教育機関等において「剣道講習会」を行った内容と反響等についてご説明いたします。

在パ日本国大使館では、「日パ国交樹立65周年記念日本文化祭」における剣道演武が大反響を収めたことから、広くパキスタンの青少年に剣道を紹介する活動を始めました。

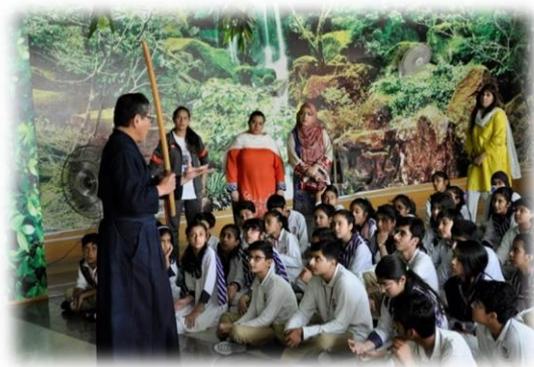
この取組みの中心となってくださったのが広報文化班のB書記官でした。彼女はパキスタンの共通言語であるウルドゥー語を学んだ才媛で、剣道にたいへんな興味を持たれ、週1回の大使館剣道クラブの稽古にも顔を出される様になりました。

私たち二人は、剣道防具一式、居合刀、木刀、竹刀に展示用の武者飾りを館用車に積み込んで小中高・大学の各教育機関を次々に訪れて「剣道講習会」を行い、行く先々で大反響をおさめたのです。まるで旅回りの演劇一座の様でした。

2 パキスタン青少年の剣道への認識と興味

私は、パキスタンの青少年が、自分の思った以上に、「侍」や「日本刀」のことを知っているのに驚きました。世界中で有名になっている侍が主人公のアニメや映画で一種のヒーローの活躍として知っているのです。大学生の中には、宮本武蔵の「五輪書」や新渡戸稲造の「武士道」の翻訳版を読んでいた方もいました。

しかし、残念なことに、剣道が柔道や空手の様に武道・スポーツの一環として広く普及していることを知る人は少ないのが現状でした。剣道は定期的に世界選手権大会も開催される国際スポーツであるのですが、…。どの講習会でも、児童・生徒・学生



の興味はたいへん大きく、毎回約1時間の予定時間を大きくオーバーするのが通常でした。

彼らは、日本刀とそっくりの居合刀や武者飾りはもちろんですが、竹刀や防具にも大きな関心を示しました。日本における古人の剣道稽古への工夫や職人の繊細で高い工作能力にも関心を示したのだと思います。

3 剣道講習の内容

最初に私たちは、剣道の歴史、剣道防具等の成り立ち、剣道のルール等について、簡単なプレゼン資料を準備し、私が英語で、B書記官はウルドゥー語で説明しました。質問がとても多く、毎回、回答にしどろもどろしましたが、受講生の関心の高さに感激しました。

また、多くの受講生に登壇してもらい、実際に防具を着装して竹刀で私に打ち込む実演を行いました。

そして、私は毎回、「剣道における気合の重要性」と「気剣体の一致」について詳しく説明し、実際に全員で気合の威力を体験してもらいました。

まず、私自身ができるだけ大きな気合を、「ヤー」と講習会場に響き渡らせ受講生をビックリさせた後に、講習生にも順番に気合を発してもらいます。

当然ですが、誰も最初は大きな気合を発することはできません。

次は、会場全体で「ヤー」と気合をかけてもらいます。

「もっと」、「もっと」と何度も繰り返し、最後は会場が揺れるほどの大きな気合になりました。

この時の受講生の何ともスッキリとした笑顔はとても素晴らしいものでした。自分の「気」を外に発することで、さらに大きな「気」を身体に取り込み、これを繰り返すことで、全身に「気」を漲らせることができることを体験してもらったのです。

まさしく、「元気」を伝えたかったのです。

4 反響と将来性

この活動は次々と広がりを見せ、地元の空手連盟からの受講依頼を受けたり、あちらこちらに全部で10回位の講習会に出かけました。



毎回、翌日の新聞等では大きく報じられましたし、多くの指導者の方々から定期的な講習会を継続してほしいとの申し出も受けました。

単に「新しいもの好き」というだけでなく、剣道の文化的・伝統的価値を理解した上で、その清々しさや充実感を味わって頂けたのであれば、身に余る光栄です。

彼ら彼女らの反応を見て、パキスタンにおいても、しっかりとした日本からの支援体制が整えば、剣道は教育の一環として必ず定着するとの感を強く持ちました。

日本においても青少年に対する武道教育の重要性が再認識され、中学校における武道必修化が決まり武道教育が進められております。

この潮流が、日本、パキスタン、そして世界各国に広がり、地球上に正々堂々とした慈愛溢れる青少年が育っていったらと切望しております。

今回は、私自身が「交剣知愛」という教えが持つ、限りない広がり、素晴らしさを再認識させていただいた次第です。

将来、何処かで誰かに「剣道教えに来てくれた人だね」って声をかけられたら感激ですね。